



第4回震災復興コンサートを迎えるにあたつて

声楽家 図書館協議会委員 茂木 美竹

震災から5年を迎えるこのタイミングで、この原稿に向き合っていますが、思いはあふれ心を覆い尽くし、筆を伝つて止めどなく流れていきそうです。その思いの行き着くところは、「生きたかった人の今を、生きていることへの「感謝」であり「祈り」。

きっと私だけでなく、あの日から誰もの心に灯り続けている命の灯りなのだと思ひます。

2011年3月11日あのとき、あなたはどこで誰といましたか…。

2011年5月。ピアニストの近藤美穂子さんの発案のもと県立図書館と児童会館の共催事業として、第1回震災復興コンサートが開催されました。私は、当時中学1年の双子の娘と演奏させていただきました。

復興のために音楽で何か出来たらと考えていた矢先のお話で、1ヶ月足らずの準備でしたが、「成功させたい」思いで、夢中でした。おかげさまで多くの方々に喜んでいただけるステージとなり、癒しと希望を来場者の方々と分かち合うことができました。第1回、第2回、第3回と開催していく中で来場者も、演奏で賛同して下さる方々も増えてきました。そして貴重な義援金を被災地へ届けることができました。

震災直後、音楽を生業にしている人なら誰しもが、これからのが「自分と音楽との関わり合い」を意識したことでしょう。それから少しして「私たちが出来ること」が日本中の合い言葉となり、その言葉に背中を押されて多くの音楽による復興支援活動が起こりました。そのもつとも象徴となつた曲「花は咲く」をはじめ、音楽の力が人々の癒しや希望となっていました。それは、演奏させていただく私にとつても同じでした。

「震災復興コンサート」が、演奏活動をする意欲を後押ししてくれて、歌詞や音楽によって励まされ、自分自身の心の復興に繋がったのです。コンサート後、音楽と関わる自分自身の心が大きく変わったきっかけになりました。

5年前、震災によつて失われた多くの命。見たかったもの、知りたかったもの、たくさんあつたでしょう。会いたかった人もいるでしょう。その人が生きたかった今をこうして生きている私たち。

3月19日に行われる4回目の震災復興コンサートは、春の息吹に希望と祈りを込めて演奏します。

5回目の春が、暖かい春風と共に多くの希望で満ちますように。



(第1回震災復興コンサートから)

特集

県立図書館は市町村図書館等の運営を支援しています

各地区担当
職員が訪問

市町村図書館の取り組み

県立図書館では県北、県央、県南各地専任の担当職員が市町村図書館や公民館図書室に直接出向き、運営上の相談に応じたり、一緒に改善に取り組んだりし、継続的な支援をしています。今年度は、県内で新館開館や移転開館が続きました。今回は、それらの図書館を紹介します。

県北地区

鹿角市立花輪図書館

平成27年4月16

日、文化ホール
や子育て支援施
設等からなる鹿
角市文化の杜交
流館「コモッセ」
の2階に鹿角市立
花輪図書館の新館
がオープンしました。

館内には高齢者
向け、中高生
向け、ビジネス
マン向けのコ



館内には光が差し込み、明るい雰
囲気の中でゆっくりと過ごすこと
ができます。

ナーがあり、様々な年代の人が本を選びやすいよう
に工夫されています。また、自動貸出機の導入により、
貸出手続が自分でできるようになりました。

そして「夜の図書館 よるとしょ」では、通常19
時までの開館時間を21時まで延長し、コンサートや
ゲストを招いてのトーク等、地域の方々の協力を得
ながら多彩なイベントが行われ、多くの参加者で賑
わいました。

季節に応じた本の展示も随時行われており、訪ね
るたびに新たな発見がある図書館です。

中央地区

八郎潟町立図書館

平成27年5月1

日、八郎潟駅前
にできた複合施
設「えきまえ交
流館・はちパル」
内に八郎潟町立
図書館がオープ
ンしました。今
年度は県と町の



うたせ舟をイメージしたデザインと木
のぬくもりで、くつろげる空間となっ
ています。

人事交流を行い、秋田県立図書館職員が館長として、
務めています。

閲覧室にはビジネスや農業・地域おこしコーナー、
暮らしコーナー等、住民の生活に役立つ資料が揃え
られています。

この図書館の大きな特徴として広域利用があります。
八郎潟町だけでなく、井川町、五城目町、大潟
村、潟上市、三種町、上小阿仁村の全7市町村の住
民が貸出サービスを受けることができます。また、
図書館内的一角に学童保育があり、放課後を中心に
多くの子どもたちで賑わっています。駅を使う人の
利用も多く、地域の人に親しまれている図書館です。

県南地区

横手市立平鹿図書館

昭和56年に開館し
た横手市立平鹿図
書館が、平成29年
度に新図書館とし
て開館するまでの
間、平鹿庁舎2階
に『借りぐらし平
鹿図書館』として
開館しています。



入口側に児童向けコーナーやミニ展
示があり、入りやすい雰囲気になっ
ています。

今までの図書館
とは違い、スペースが限られた中での開館となっ
いますが、「借りぐらし」の期限限定とはいえ、
様々な図書コーナーを設置し、親しみやすい雰囲気を
作るなど、地域の方々に利用してもらえるよう
工夫をしています。

おはなし会や本の企画展示はもちろんのこと、横
手市内の近隣図書館と連携したスタンプラリーや抽
選会等、図書館に足を運びたくなるようなイベント
が毎月行われています。

29年秋に開館予定の新図書館の計画も進んでお
り、そちらも楽しみです。

Topics

～県立図書館の事業やイベントなどの紹介～

読書フェスタ

コンサートやギャラリートークを実施



11/1のコンサートは「童謡生誕 100周年に向けて」と題して、時代を代表する歌を紹介しました。

10月24日～11月3日の期間中、全県規模で読書フェスタが開催され、県民の読書に対する機運を高めるために、県立図書館でも様々な催しを行いました。

10月31日には

ファミリーボーカルユニット美風優さんによるコンサート、11月1日には県民読書の日制定1周年を記念した童謡コンサート、県立図書館とあきた文学資料館の貴重資料を紹介するギャラリートーク等を開催した他、おはなしタイムや市町村図書館だより、高等学校図書館報の展示を行いました。



県立図書館やあきた文学資料館が所蔵する貴重資料を紹介しました。

1回目は読書フェスタ期間中の10月31日に行われ、「秋田の文学を語る」として秋田大学山崎義光准教授が講義し、45人の参加がありました。

放送大学連携セミナー

「秋田をまなぶ講座シリーズVII」を開催

毎年好評をいただいている放送大学秋田学習センターとの連携セミナーを、今年度も2回開催しました。



山崎義光准教授が「島木健作の秋田紀行」を中心にお話してくださいました。

2回目の12月



佐々木久春名誉教授には曲の背景や作者の思いを解説していただきました。

12日には、音楽セミナー「歌ことば～自然への思い～」として、様々なジャンルの歌を声楽家の土崎宏人さんに披露してもらい、秋田大学佐々木久春名誉教授が歌の背景や歌詞

を解説しました。91人の参加があり、最後には全員で秋田県民歌を合唱しました。

「お金と暮らしのセミナー」開催

本セミナーは、秋田県金融広報委員会との共催で毎年開催しています。今年度は「ファイナンシャルプランナー直伝！安心の“セカンドライフ”を迎えるために…」と題し、講師に金融広報アドバイザーの斎藤廣勝先生を迎えた。



事例を交えたわかりやすいお話をユーモアある語り口で大好評でした。

1月23日、2

月6日は年金1部・2部、2月20日、3月5日は相続1部・2部として、それぞれの制度や法律を学び、心構えや対策について解説がありました。各回とも定員の50名を超える参加者があり、大盛況でした。



会場は、熱心に耳をかたむける参加者であふれました。

今後も県民の生活に役立つセミナーを企画して参ります。

News～県立図書館からの最新情報～

第2次秋田県読書活動推進基本計画



えほんのへやで行われたクリスマスおはなし会の様子

秋田県は全国唯一、県民の読書活動の推進に関する条例がある県です。この条例を受け、平成23年から27年度にかけて「秋田県読書活動推進

基本計画」が定められ、行政や図書館、学校等の協働により県民の読書環境の整備や関心を高める啓蒙活動を行ってきました。

この5年間の成果を受け策定された「第2次秋田県読書活動推進基本計画」では、平成28年度から32年度まで5カ年、家庭や地域・学校・職場等、様々なライフステージでの読書推進に取り組むこととなっています。県立図書館においても、市町村図書館や学校図書館の支援、読書ボランティアの育成、電子書籍など新しいサービスの推進等に努め、県内図書館の中核的役割を果たしていきます。

資料増加、さらに内容充実! 電子書籍サービス



閲覧用アプリも随時更新し、操作環境の向上を目指しています。ご感想をお聞かせください。

apl@apl.pref.akita.jp

平成24年10月よりご利用いただいているおります当館の電子書籍サービスに、今年も新たな資料が加わりました。内訳は、雑誌が

「歴史読本」(1985年-1990年)、「週刊ダイヤモンド」(2004年-2014年)、「週刊東洋経済」(1927年-1945年)、書籍が「小松左京と大震災『日本沈没』手書き原稿集+活字版」となっています。

今後もなお一層の資料の充実を図って参ります。

Event～イベント・催し物のお知らせ～

■特別展示

昭和40～50（しごじゅう）年代を行く ～県立博物館連携展示～

【期間】 3月26日（土）～5月29日（日）

【時間】 午前10時から午後5時まで

【会場】 県立図書館2階特別展示室

【内容・見どころ】

高度経済成長政策によって、昭和40～50年代の秋田県民の生活はどのように変化したのか？かつて身の回りにあったホーロー看板、プラモデル、ラジカセなどの生活雑貨品を展示し、昭和の秋田を紹介します。

これからの休館日

4月6日（水）

5月11日（水）

6月1日（水）

6月7日（火）～13日（月）（特別整理期間）

7月6日（水）

8月3日（水）

9月7日（水）

10月5日（水）

11月2日（水）

12月6日（火）～12日（月）（特別整理期間）

※休館日に図書や雑誌を返却する際は、正面入口横にあるブックポストを御利用ください。